

図面編

第 2 章 CAD 標準仕様

[CAD 標準仕様] は作図している図面の画層や線種、寸法スタイル、文字スタイルを変更した時に [標準図] に従っていない場合に自動的に警告を表示し、手動または自動的に修正する機能です。

この章では、「CAD 標準仕様」の設定方法と図面の修正について学びます。

第 1 節 標準図の作成

第 2 節 標準図の環境設定

第 3 節 標準図の指定

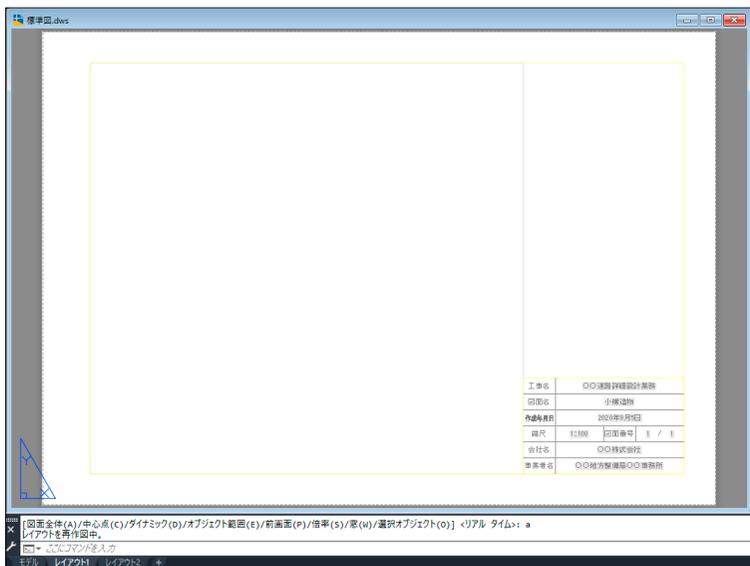
第 4 節 標準違反の手動修正

第 5 節 標準違反の自動修正

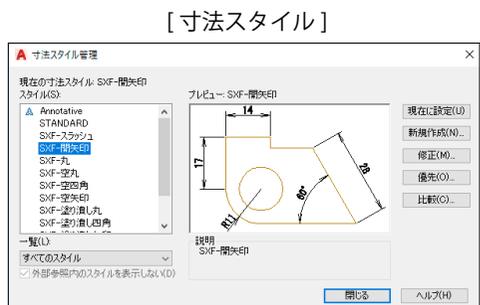
1 標準図 (dws) の作成

1 標準図 (dws) を作成する

①新規図面に [画層] [線種] [文字スタイル] [寸法スタイル] などを設定します。
または既存の図面を標準図 (dws) として保存します。



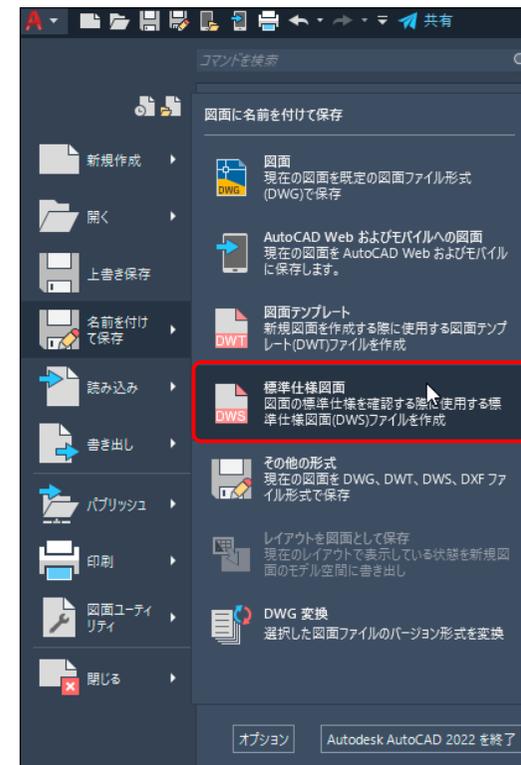
②標準図からチェックできる項目は [画層] [線種] [文字スタイル] [寸法スタイル] です。



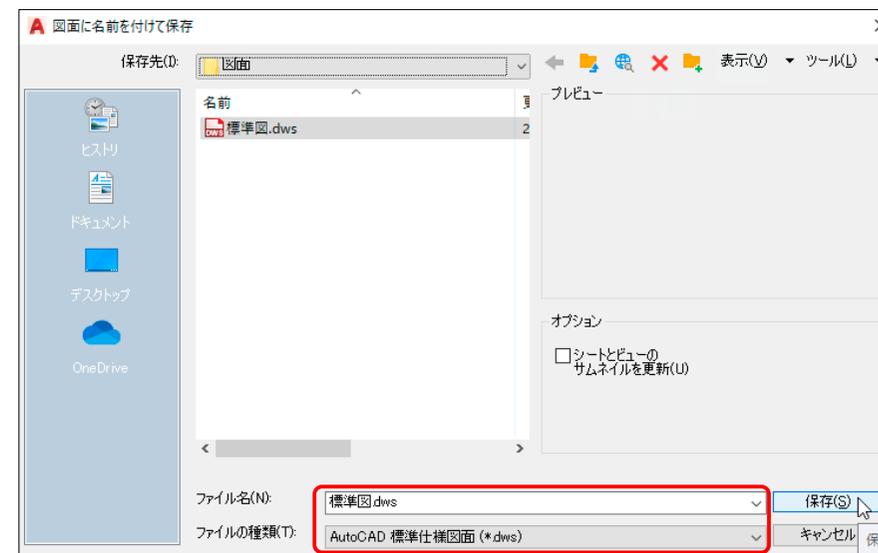
2 標準図 (dws) の保存場所を指定する

①標準図の保存場所を指定します。

[アプリケーション ボタン] -> [名前を付けて保存] -> [標準仕様図面] を選びます。



① [図面に名前を付けて保存] ダイアログに保存するフォルダと名前を入力します。
拡張子が <dws> であることを確認します。



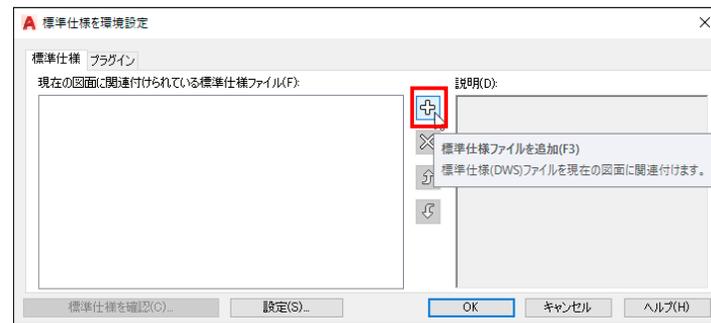
2 標準図 (dws) の環境設定



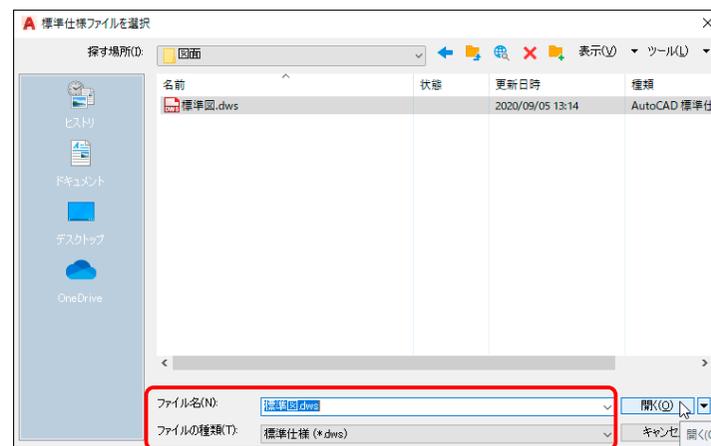
リボン	[管理] タブ -> [CAD 標準仕様] パネル -> [環境設定]
コマンド	Standards

1 環境設定では、[自動修正]か[手動修正]か、またはどの項目をチェックするか等を設定する

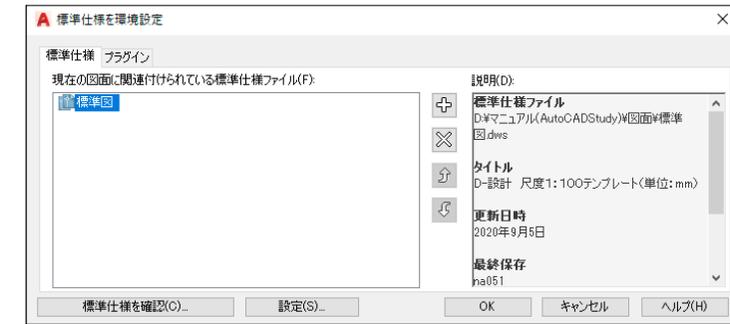
- ① [管理] タブ -> [CAD 標準仕様] パネル -> [環境設定] を選びます。
- ② 表示される [標準仕様を環境設定] ダイアログから + ボタンを押して、[標準仕様図] を読み込みます。



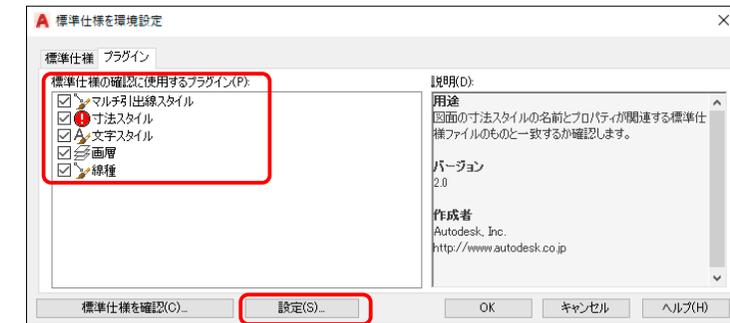
③ 表示される [標準仕様ファイルを選択] ダイアログから [標準図] にする図面を指定します。拡張子が <dws> であることを確認します。



- ④ [標準仕様を環境設定] ダイアログには2つのタブがあります。1つは [標準仕様] タブで図面にどの標準図を関連するかを指定します。

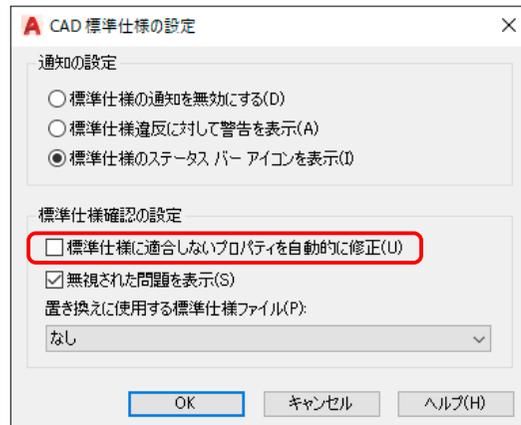


- ⑤ もう1つは [プラグイン] タブで図面にどの項目をチェックするかを指定します。初期値では [マルチ寸法線スタイル] [寸法スタイル] [文字スタイル] [画層] [線種] のすべてにチェックされています。チェックを外すとその項目は検証対象から外れます。

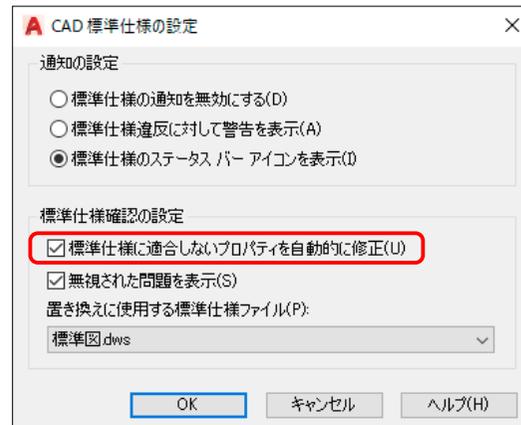


- ⑥ [設定] ボタンでは、修正を [手動] で行うか、[自動] で行うかの指定ができます。

修正を [手動] で行う



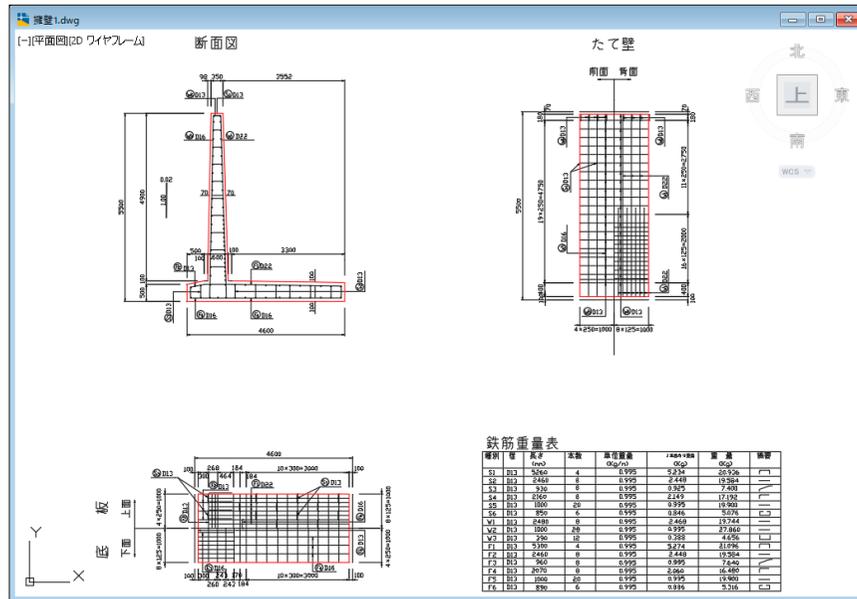
修正を [自動] で行う



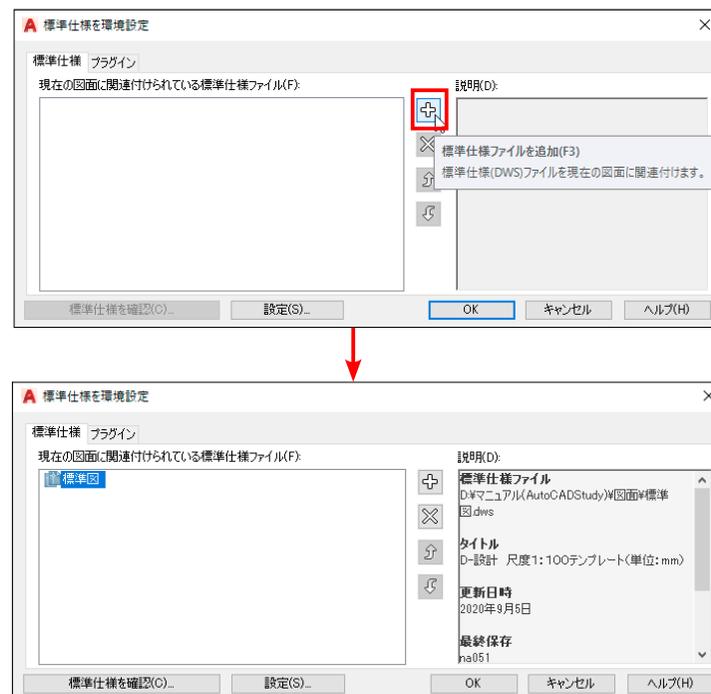
3 標準図 (dws) の指定

1 検証したい図面に標準図 (dws) を指定する

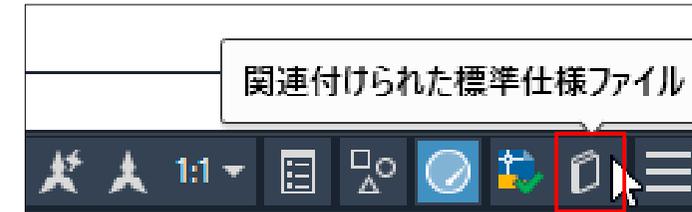
- ① 作図中の図面をチェックする標準図を指定します。
 今、下図の図面に検証する標準図を指定します。



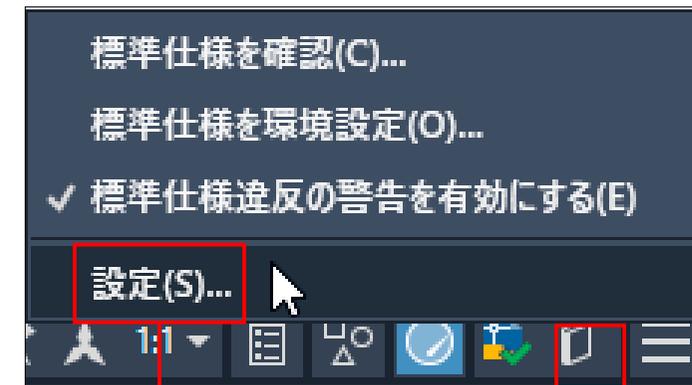
- ② [管理] タブ -> [CAD 標準仕様] パネル -> [環境設定] を選びます。
 表示される [標準仕様を環境設定] ダイアログから + ボタンを押して、[標準仕様図] を読み込みます。



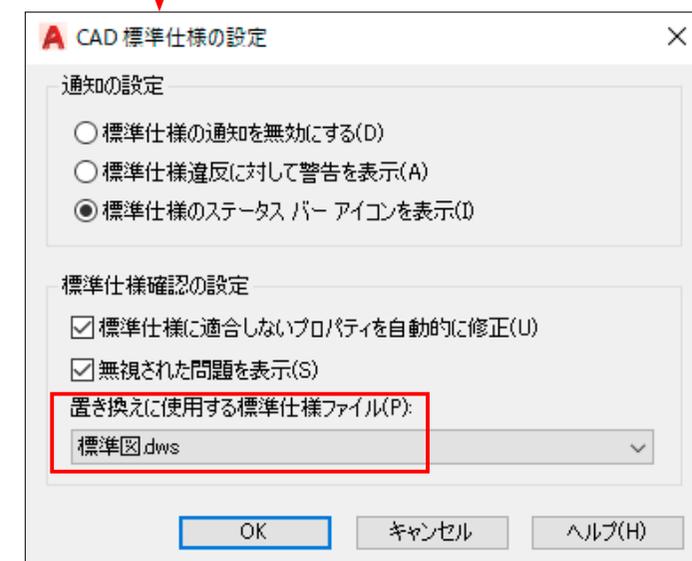
- ③ [標準仕様を環境設定] ダイアログを閉じると、ステータスバーの右端近くに [関連付けられた標準仕様ファイル] のボタンが表示されます。



- ④ この [関連付けられた標準仕様ファイル] ボタンを右ボタンのクリックから [環境設定] などの確認や変更が可能です。



- ⑤ [設定] ボタンを押すと [CAD 標準仕様の設定] が表示されますから、ここからでも変更は可能です。



4 標準違反の手動修正

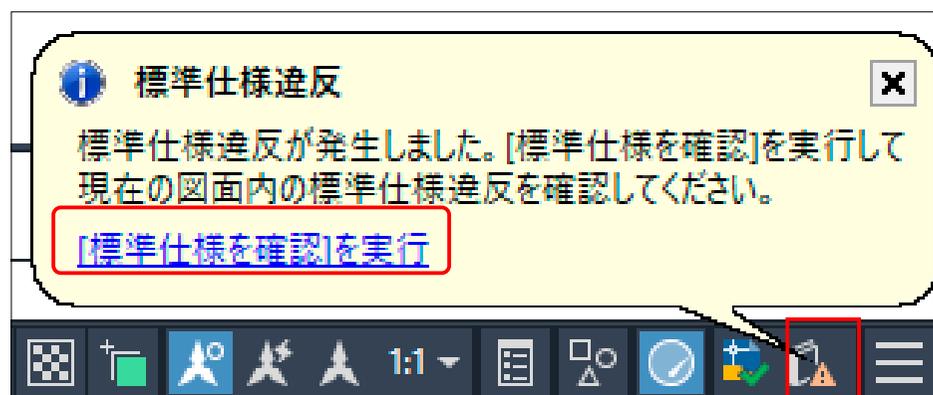
リボン	[管理] タブ -> [CAD 標準仕様] パネル -> [確認]
コマンド	Standards

1 作成中の図面を標準図 (dws) と比較して、違反があれば通知する

①下図は新規画層 <3> を作ろうとしています。この画層 <3> は標準図にはありません。



②リアルタイムでステータスバーに [標準仕様違反] の警告メッセージが表示されます。



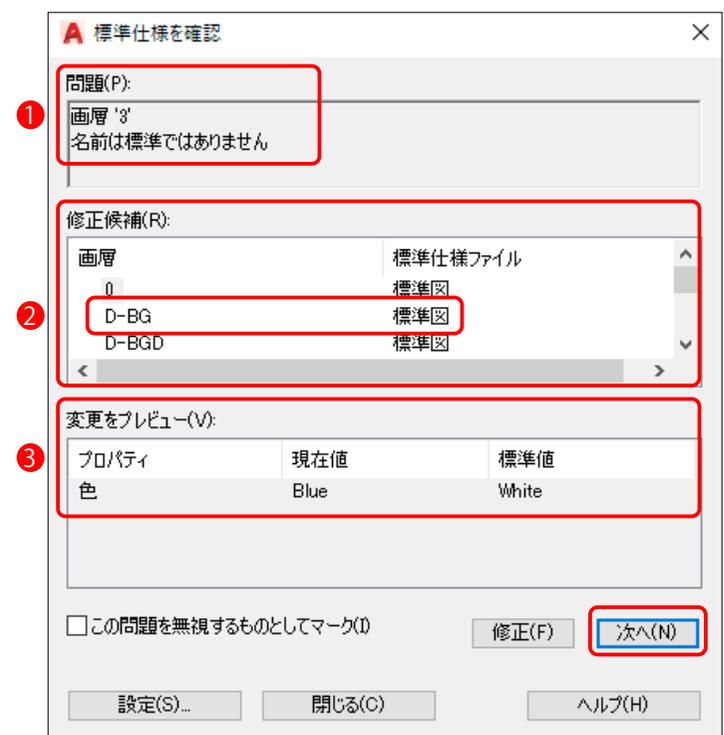
2 標準違反を手動で修正する

① [問題]・・・標準図と比較して、何が違反しているかを表示しています。
ここでは、[画層 '3'] は標準図に違反していることを示しています。

② [修正候補]・・・違反している [画層 '3'] を変更できる画層を表示しています。
マウスで変更する画層を指定します。(下図では <D-BG> の画層へ変更しました。)

③ [変更をプレビュー]・・・変更した後の画層の状態をプレビューできます。

④ [次へ] ボタンを押して、検証結果を確認します。



⑤ [標準仕様を確認-確認の完了] パネルが表示され、検証結果が表示されます。
問題がまだある場合は、上記②から繰り返します。
下図では [手動修正] が <1> と表示されています。



CAD 標準仕様

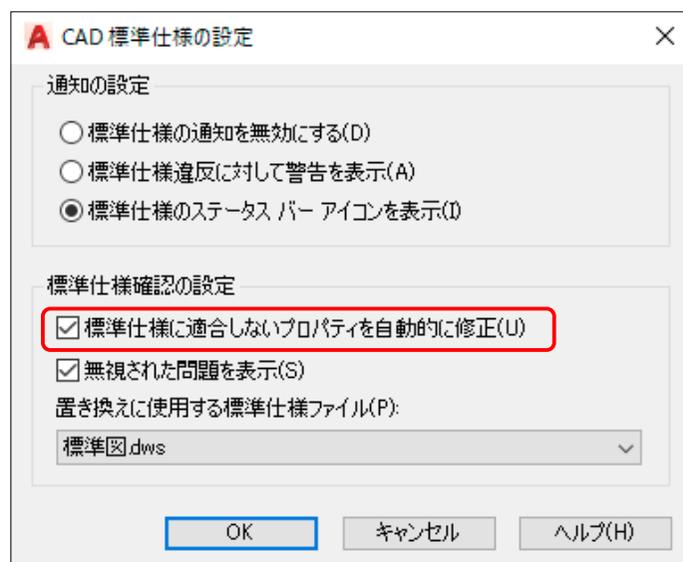
CAD 標準仕様

5 標準違反の自動修正

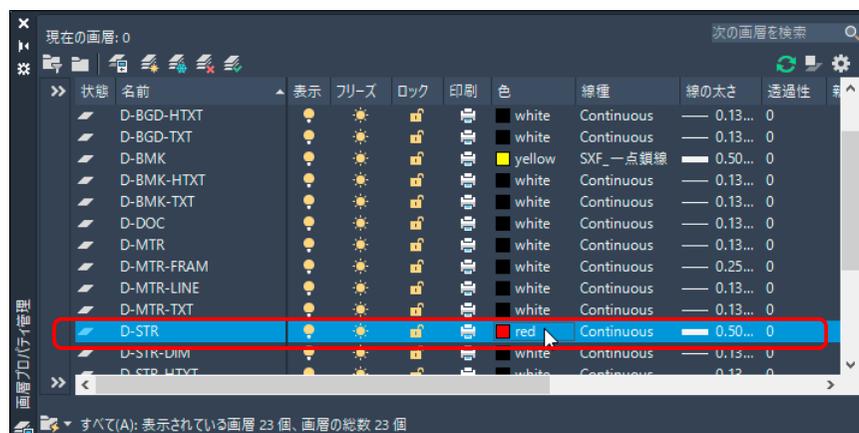


1 作成中の図面を標準図 (dws) と比較して、違反があれば通知する

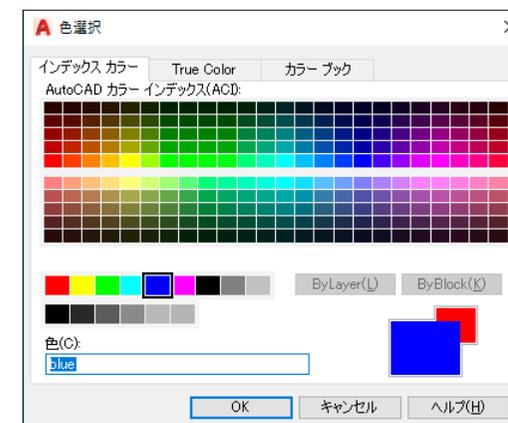
① [標準仕様を環境設定] ダイアログを表示し、[標準仕様に適合しないプロパティを自動的に修正] をチェックします。



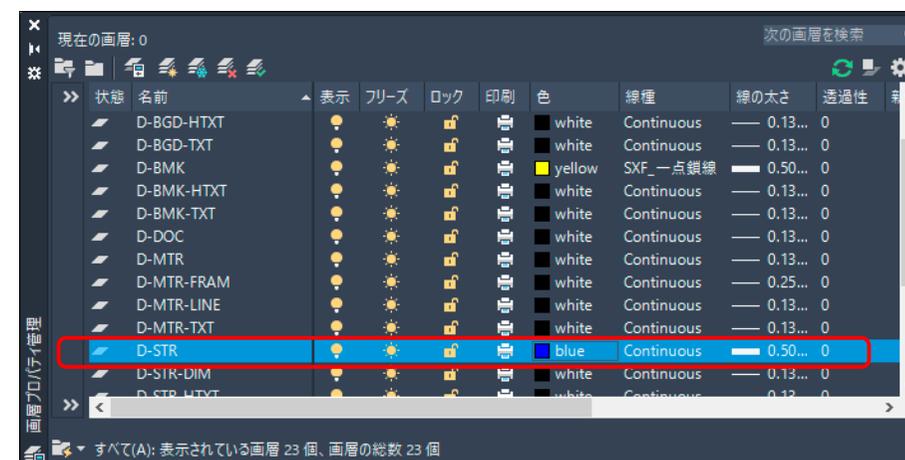
② 下図では、[D-STR] 画層の色を [赤] から [青] に変更しようとしています。



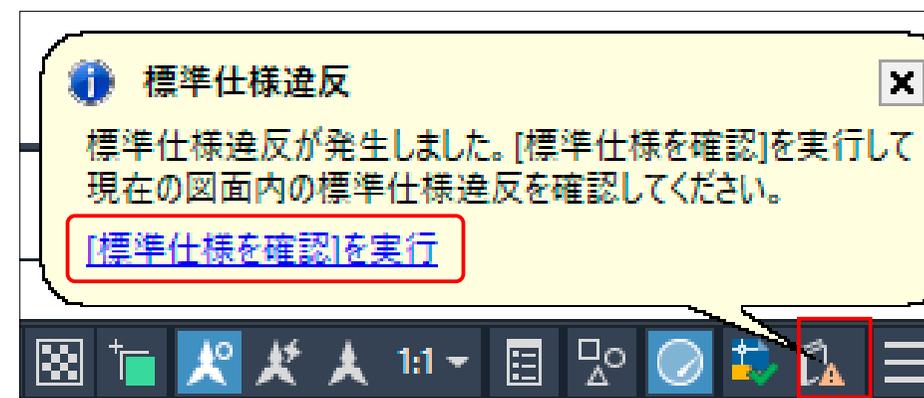
③ [色選択] ダイアログを表示させ、[青] を選択しました。



④ 下図のように、画層 [D-STR] の色は [青] になりました。

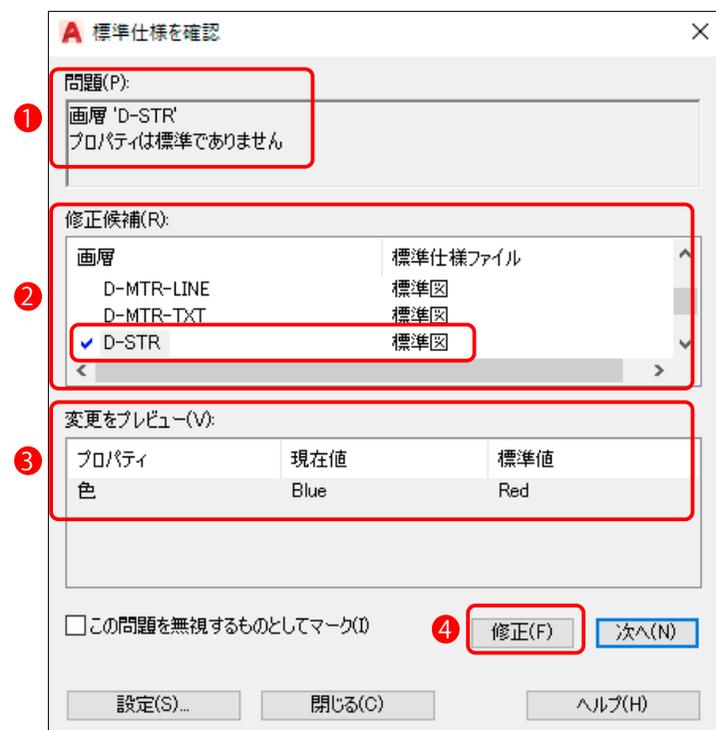


⑤ 変更した途端に、リアルタイムでステータスバーに [標準仕様違反] の警告メッセージが表示されます。

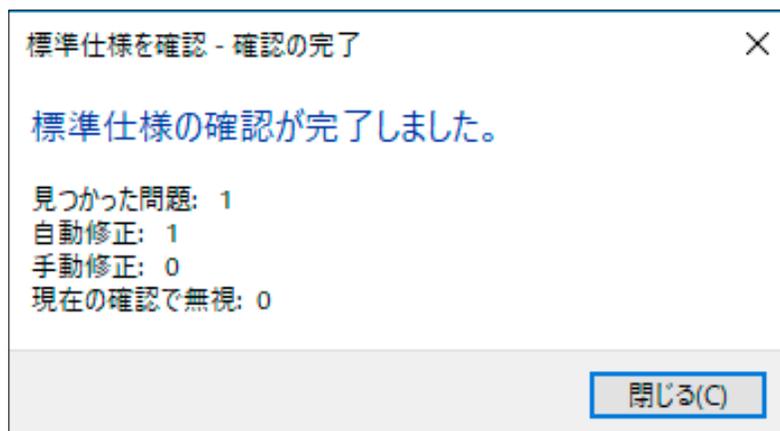


2 標準違反を自動で修正する

- ① [問題]・・・標準図と比較して、何が違反しているかを表示しています。
ここでは、[画層 'D-STR'] のプロパティは標準図に違反していることを示しています。
- ② [修正候補]・・・画層 [D-STR] がチェックされています。この画層に問題があることを示しています。
- ③ [変更をプレビュー]・・・現在の値の [Blue] は標準値の [Red] であるべきことを示しています。
- ④ [修正] ボタンを押して、自動修正を行います。



- ⑤ [標準仕様を確認-確認の完了] パネルが表示され、検証結果が表示されます。
下図では [自動修正] が <1> と表示されています。



- ⑥ 下図のように、画層 [T-STR] の色は、初期値の [赤] に戻りました。

